

第27回横浜解放まつり

1月23日、佐賀町民館で第27回横浜解放まつりが開催されました。今年のテーマは「解放運動の熱と光を未来に」。記念講演に解放社会学研究所所長・江嶋修作さん、部落解放運動鳥取県連女性部長・坂田かおりさん、横浜解放まつり実行委員長を務める佐賀児童館の指導員・川崎健太郎さんの3人でパネルディスカッションを行いました。

パネルディスカッションのテーマは「部落差別の現状とこれから」で、地元の川崎さんが、今の現状や課題などを挙げ、3人で話し合いました。

その他には佐賀保育所の園児による歌と太鼓の発表や、子ども会による発表(作文、劇など)、SINABURAの和太鼓演奏、ルアナと愉快な仲間たちのフラダンスなど、盛りだくさんの内容で来場者を楽しませました。



2016大方人権まつり

2月6日、ふるさと総合センターにて2016大方人権まつりを開催しました。

今年のテーマは「手と手と手つないでみよう その思い」。午前中は、大方地域の小中学生による人権作文の発表、大方中央保育所ぞう組の歌とダンス、子ども会の発表などが行われました。

午後からの記念講演は宮崎保さんのトーク&コンサート「ちよつと心をかしてくれませんか」。宮崎さんの心のこもった歌と、今までの自分の経験や、部落差別に対する熱い思いをお話しいただきました。

今回、1時間半の記念講演でしたが宮崎さんは「とても心に残る人権まつりだった。まだ話したいことは半分くらいしか話せてないので、また呼んでください」とおっしゃっていました。



宮崎さんによる、あたたかい歌声と来場者の手拍子で会場が包まれました。タンパリンを町職員、泉彩里さんがお手伝いしました。

行政相談出前教室を開催

1月29日、伊与喜小学校で県内で約12年ぶりとなる行政相談出前教室が行われました。

講師に高知行政評価事務所から久米伸介さんと、黒潮町担当行政相談委員の山下恵美子さん・曾根省子さんを招き、伊与喜小学校5・6年生5人が行政出前教室に参加しました。

教室では総務省の行政相談制度や行政相談委員についての説明の後、児童から行政に対する事前考えた要望を発表しました。子どもたちは通学路の整備や学校の遊具の修繕、公園の設置など、日々の生活の中で行政への要望を伝えました。

行政相談委員の方は、子どもたちの要望を行政の担当者に伝え、後日、伝えてからどうなったかを報告するとの事です。



福祉避難所開設・運営訓練

黒潮町福祉避難所協議会が、1月30日、かしま荘にて福祉避難所の開設・運営訓練を行いました。

福祉避難所とは、一般の避難所では生活に支障がある方を対象に特別な配慮がされた避難所です。黒潮町では、かしま荘のほか6つの福祉事業所と協定を結んでいます。

訓練には、福祉事業所、行政、社協の職員のほか、区長会、民生委員や浜町、白浜地区住民など19人が参加し、福祉避難所についての説明の後、避難所の開設から避難者の受入、避難所の閉鎖まで一連の流れを確認しました。また、ボランティアくじらの皆さんによる炊き出し訓練も実施し、おむすびの試食の後、全員で訓練の振り返りを行いました。今後も地域の皆さんと一緒に取り組んでいきたいと思えます。



避難者に体調など聞き取りをし、必要な物を準備します。